

感染状況・医療提供体制の分析(2月8日時点)

【岡山県専門家有志】
(東京都統括コメント参照) 詳細



区分	モニタリング項目 *①～③は過去1週間合計	前回の数値 (2月1日時点)	現在の数値 (2月8日時点)	前回との比較	分析コメント	
感染状況	①新規陽性者数 (人口10万人当たり)	総数	6586人 (350.9人)	4993人 (266人)	↓	<div style="background-color: #f0e68c; padding: 5px;"> レベル3. 感染縮小の兆候があるが警戒が必要 </div>
		60歳以上 (総数に占める割合)	1357人 (21%)	1022人 (20%)	↓	
	②保健所別 新規陽性者数	岡山市保健所	2456人	1919人	↓	陽性者は <u>人口10万人当たり266人</u> と緩徐な減少傾向。季節性インフルエンザ注意報発令中。感染縮小の兆候と保健医療への負荷も改善してきており、岡山県に出されていた「医療ひっ迫警報」も2月9日に解除された。しかしながら今後も、免疫の減衰や変異株の置き換わりの状況を踏まえ、感染状況を注視する必要がある。基本的な感染防止策の徹底と、オミクロン株対応ワクチンの接種など感染対策の継続を。
		倉敷市保健所	1549人	1218人	↓	
		備前保健所	665人	482人	↓	
		備中保健所	744人	510人	↓	
		備北保健所	123人	113人	↓	
		真庭保健所	105人	60人	↓	
美作保健所		608人	473人	↓		
その他	336人	218人	↓			
医療提供体制	③入院患者数 (確保病床における入院割合)	319人 (51%)	239人 (38%)	↓	<div style="background-color: #d62728; color: white; padding: 5px;"> レベル4. 体制が逼迫していると思われる </div>	
	④宿泊療養者数	47人	40人	↓	感染者数減少を受け、徐々に入院患者数や重症者数も減少。通常の医療提供体制へ回復傾向だが、院内と外来両方の陽性者対応に追われている状況が続く。	
	⑤自宅療養者数	6250人	4949人	↓		
	⑥重症者数	6人	5人	↓		